



その名の通り、支店発信の情報を紹介するコーナー☆各支店の広報委員が、身近な出来事をお伝えします。皆さまからのホットな情報もお待ちしておりますので、最寄りの支店へご連絡ください。

こんにちは

支店の時間です



常盤 支店に大菊展示

常盤基幹支店に大きく立派な菊が届きました。組合員の高木洋一さんが丹精を込めて育てた菊です。藤崎町榊地区の老人クラブで菊の品評会があり、毎年育てています。高木さんは「支店を訪れた方に季節を感じて、楽しんでほしい」と話しました。猪股弘美支店長は「支店も華やかになり、来店者も和んだ気持ちになっているので、大変ありがたい」と感謝しました。



尾上 お仕事ご苦労さま!

平川市日の出こども園の園児19人は11月7日、尾上基幹支店を訪れました。園児は元気よく「お仕事ご苦労さまです」とあいさつをして、メッセージカードと手づくりの花の置物をプレゼントしました。能登谷啓二支店長は「これからも仕事を頑張るので、応援をよろしく」と話しました。園児は、支店内に展示した自分たちが描いたわんぱく農園の絵を見て、喜びました。わんぱく農園の絵は17日まで、20日からは金田小学校のバケツ稲の川柳の展示を予定しています。



黒石 黒石市長がJA施設を督励

黒石市の高樋憲市長や当JAの澤一雄専務らは10月16日、地域農業活性化の一環として農作業督励を行いました。当JAの黒石中央りんごセンターを訪れた一行は、黒石販売センターの鳴海貴嗣統括から施設内の概要や輸出についての取り組みなどの説明を受けました。その後施設内を視察し、「生産者のために、これからも尽力してほしい」と励ましました。



板柳 JA女性部員が出前授業

女性部板柳支部（齋藤聖子支部長）は10月6日、板柳町立小阿弥小学校で出前授業を行い、5年生におにぎりの作り方を教えました。同支部では町民祭の「食&農フェスタ」などで食の大切さを伝える活動を展開しています。女性部員ら4人が講師となり、家の光協会発行「家の光3月号」を活用し、スティックおにぎりを作りました。児童は「簡単だった。いろんな具を使って家でも作ってみたい」と話し、ご飯のおいしさを実感しました。



石川 迫力満点マグロ解体ショー

道の駅サンフェスタいしかわは10月9日、店舗正面特設会場でマグロ解体ショー・即売会を開きました。準備中から大間産の生本マグロにお客さまは興味津々。迫力の解体ショーに集まったお客さまで大賑わいでした。即売会も行われ、100g赤身800円、中トロ1000円、大トロ1200円で販売され、瞬く間に完売となりました。魚河岸岩木屋では、先着100名様に大間産生マグロ丼・漬け丼を通常価格より700円引きの1300円で提供しました。



田舎館 祭りの思い出をフォトギャラリーで

地域住民とJAの接点をつくるため、田舎館基幹支店では9月2日に行った田舎館基幹支店農協祭のフォトギャラリーを支店とグリーンセンターの2カ所に設置しました。支店とグリーンセンターを訪れた方は、自分が写っている写真や祭りの思い出などを話しながら楽しそうに見ていました。展示は11月10日まで行われ、11月末に希望した写真を配布する予定です。



平賀 優秀賞看板アグリアスへ設置

10月26日、みなみ地区青年部松崎支部（古川将路部長）が作成し、平成28年度青年部手づくり看板全国コンクールで最優秀賞を受賞した看板がアグリアス敷地内（平川市小和森上松岡211-1）に設置されました。古川部長は「地場産の美味しい農産物を盛り付けたデザインは、地元の産直に展示するのがふさわしいと思う。全国コンクールでも目を引く存在感のある作品を、ぜひ皆さまにも見てもらいたい」と話しました。